

IPO銘柄 イノベーション (3970・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3970	100株	公募: 15.36万株 売出: 4.50万株 (OA2.97万株)	2,570円~2,770円 (17.0倍)	SMBC日興証券



法人向けにインターネットマーケティング支援を展開

■ 事業内容

法人向けインターネットマーケティング支援を手掛ける。オンラインメディア事業とセールスクラウド事業が両輪。オンラインメディア事業では、法人向けIT製品の比較、資料請求サイト「ITトレンド」と法人向けアウトソーシングサービスの比較・資料請求サイト「BIZトレンド」を運営する。セールスクラウド事業では、法人営業に特化したマーケティングオートメーションツールである「List Finder」の提供とオンライン商談システムの代理販売、ウェブサイトへの集客施策のコンサルティングサービスを手掛ける。17年3月期第2四半期累計（16年4～9月）の売上高構成比はオンラインメディア事業が75.1%、セールスクラウド事業が24.9%となっている。

■ 特徴

主力のオンラインメディア事業で展開するサイトは、顧客となるIT製品やアウトソーシングサービスの提供企業にとっては自社のIT製品やアウトソーシングサービスを掲載することができるうえ、サイトを閲覧したユーザーによる資料請求によって見込み客の情報を入手することができる。掲載企業は初回掲載時の初期費用のみで製品数やサービス数に関わらず掲載が可能。収益は資料請求毎の成果報酬課金。サイトへの集客は検索エンジンが中心で、サイトの閲覧は無料で会員登録の必要もない。

アナリストコメント

■ 定量分析

17年3月期の非連結経常利益は1億6,000万円（前期比34倍）を計画している。オンラインメディア事業では新しい広告施策の展開や積極的なSEO（検索エンジン最適化）対策に力を入れており、セールスクラウド事業の育成も進んでいる。

■ 定性分析

安定感のある法人向けのマーケティングビジネスを手掛けており、クラウド事業の育成による収益力の向上も期待される。IPOマーケットで人気を集めるタイプの企業と言えそうだ。一方、過去の利益面のブレの大きさを懸念する向きもある。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は6億円程度。人気業種にもかかわらず軽量級の案件となっている。ベンチャーキャピタル保有株もないため需給面への不安は乏しい。3社同日上場に伴う初値買い資金の分散はネガティブ材料か。

(小泉健太)

■ 類似企業

イノベーション(3970・マザーズ)	予想PER17.0倍 (仮条件上限)
VOYAGE GROUP (3688・東証1部)	予想PER15.7倍
サイジニア (6031・マザーズ)	予想PER —

■ 引受証券

SMBC日興証券、SBI証券、みずほ証券、いちよし証券、エース証券、マネックス証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
15年3月期(実績)	1,564	10.5	44	黒転	6	黒転	10.2	0.0
16年3月期(実績)	1,303	▲16.7	4	▲89.4	13	2.1倍	19.6	0.0
17年3月期(会社予想)	1,164	▲10.7	160	34倍	121	9.2倍	163.3	0.0

※ 16年2月に株式分割(1株→1,000株)を実施。15年3月期、16年3月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
15年3月期	608	463	85	33	141.4	18.5	7.4
16年3月期	699,000	615	229	98	328.3	37.3	8.4

※ 15年3月期、および16年3月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1 富田 直人	497,000	58.81
2 NTI	100,000	11.83
3 日経BP	70,000	8.28
4 岸本 真行	45,000	5.32
5 リンクアンドモチベーション	21,000	2.48
6 遠藤 俊一	20,000	2.37
7 長谷川 正和	10,000	1.18
8 関口 陽一	8,000	0.95

経営陣

役職	氏名
代表取締役	富田 直人
取締役 管理部門担当	岸本 真行
取締役 事業部門担当	遠藤 俊一
取締役	長谷川 正和
監査役(常勤)	水谷 利明
監査役	小山 貴子
監査役	今津 泰輝

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。